

ワクワク通信

私たちは、エネルギーと生活関連事業を通じて
地域の顧客満足 No.1 企業を目指しています。

社長エッセイ

よこはまたそがれ

去る2月27日石岡商工会議所で企画された視察研修(日本一のメガソーラー発電所及び世界有数のLNG基地見学という内容)でしたので、茨石の社長としては是非見ておかねばと思いつきました。最初に訪れたのは「浮島太陽光発電所」で、川崎市が土地を提供し東京電力が建設と運転・保守という共同事業として川崎市臨海部に建設されたメガソーラー発電所です。シャープ製パネルを37,926枚敷詰め年間740万kWh(一般家庭2100軒分)を発電します。広さは110,000㎡(東京ドーム2.3個分)で、その上を隣接の羽田空港の旅客機が1分間隔位に往来しております。川崎市には同じ臨海部に「扇島太陽光発電所」(こちらは更に大きく浮島の約2倍)も有りこの2つを合せて日本一のメガソーラー発電所と呼ばれているそうです。同一敷地内の「かわさきエコ未来館」では太陽光パネル等が展示され、ゴミの再利用や環境に係る学習もさせて頂きました。横浜で昼食後、みなとみらい21地区にある「原鉄道模型博物館」に寄り世界の鉄道模型やジオラマを見学しました。

「メガ」の次が「ミニチュア」と来ては目の焦点が...

しかしそんな事は言っておられず、次の巨大施設のある横浜根岸に向ったのであります。そこは「東京ガス根岸工場」この工場の歴史は古く1969年に日本で初めてLNG(液化天然ガス)を受け入れました。現在もLNGタンク13基、LPGタンク2基を有する世界でも有数の輸入・製造基地です。

この工場からは首都圏の約40%の都市ガスを送出しているようで、最大級の地下タンク1基で約30万世帯の1年分相当のガスを貯蔵出来るそうです。敷地内で使用される電力はLNGの超低温を利用した冷熱発電、それとガスタービンを使った火力発電で約6割を賄っております。これからは原子力の代替を太陽光や風力、地熱等の自然エネルギーと化石燃料でもクリーンな天然ガスやLPGガスが支えていかなければなりません。日本で最初にガス燈が灯った横浜。今でも工場入口に設置された照明用ガス燈のほのかな灯りに別れを告げ帰途につきました。



ワクワクのジオラマ体験
「原鉄道模型博物館」



最大出力 7000kW のメガソーラー
「浮島太陽光発電所」



最初に LNG (天然ガス) を導入した
「東京ガス根岸工場」

インフォメーション

今年の優勝は誰だ!?

第4回 茨石ゴルフコンペのお知らせ

●日時●

平成25年5月14日(火)
8時25分スタート

※開会式を行いますので、8時までに受け付けを済ませてください。

●場所●

石岡ゴルフ倶楽部ウエストコース
笠間市上郷 3355
TEL 0299-45-3775

●費用●

参加費 2000円 + プレー費約
9000円(昼食費・パーティ費用含む)

※昼食時ワンドリンク付き(中ジョッキまではサービスよ)

●競技方法●

18ホール ストロークプレイベリア方式
12組セルフプレー

お申込みは左記問い合わせ先までご連絡ください。不明な点など何かございましたらお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

茨石商事株式会社
担当: 大久保泰彦・浜誠次郎
TEL 0120-41-2680
FAX 0299-23-8056

「2013 絆フェスタ リターンズ
in 大洗」の開催



3 月中にコンロや給湯器をお買い上げいただけますと更に値引きなどの特典も!!!

昨年、震災復興イベントとして開催されました「絆フェスタ」が大洗ですが、茨城県を盛り上げていくために今年も開催いたします。

東日本大震災から2年が経過しようとしておりますが、茨城県は、風評被害などにも悩まされ、未だ完全な復興へと至っていないのが現状です。そこで、元気な茨城県を全国へ、特に近隣の地方の方々にアピールをし、楽しんで頂きたいという想いを込めて、「2013 絆フェスタ リターンズ」大洗を今年も開催することになりました。現在、埼玉県・栃木県・群馬県を中心に告知をしており、各県から直行バスにて、たくさんの方々が駆け付ける予定です。

また、イベント内では全国屈指のマーチングバンド、大洗高校マーチングバンド、

「DUNSTONS」のパフォーマンスや、クリーンエネルギーとして注目されている「水素」を利用した展示が予定されております。会場内では、水素自動車の試乗会や子供さんも楽しめる水素エネルギー教室など、水素エネルギーを実際に体験することが出来ます。

他にもたくさんの方々に楽しんでいただけるような催し物が満載です。ネイルアートや占い、銀座山形屋の紳士服イージーオーダー特別展示販売会、料理教室など実施予定です。概要は下記となっております。

【日時】4月20日(土)
4月21日(日)

AM 10:00 ~ PM 4:30

【会場】大洗リゾートアウトレット

無料駐車場 500台

※電車でも会場いただけます。

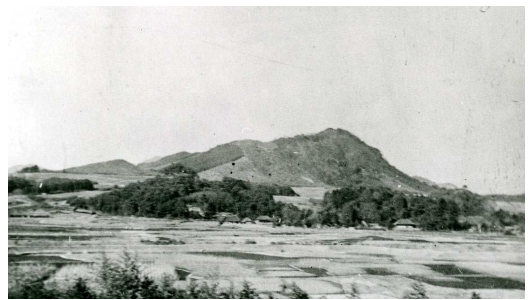
尚、絆フェスタのチラシを「持参の方々には、もれなくささやかなプレゼントもあります。是非たくさんの方々のご来場をお待ちしております！」シヨッティングついでにいらしていただけたら幸いです。イベントの詳細など何かございましたらお気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ先●

茨石商事株式会社

0120-41-2680

石岡の伝説と民話 その1



[写真]昭和初期の龍神山

ダイダラボッチ

むかしむかし、ダイダラボッチという巨人が、海辺の近くの大串という丘に住んでいました。ある日、ダイダラボッチは石岡の代田に来て、筑波山と富士山をながめ、

「さて、どっちが重いか」と考えました。天秤で計ってみようと思いついて、藤のツルを集めて筑波山と富士山をしばりあげました。引き抜いた大木の両端に二つの藤ツルを引っ掛けて、真ん中に肩を入れて、天秤棒のように担ぎあげました。

「どっこいしょ！」と持ち上げる

と、筑波山は持ち上がりましたが、富士山はビクとも動きません。さらに力を入れると、藤ツルがプツンと切れて筑波山がド

サツと落ち、そのはずみで頂上

が二つに裂けてしまいました。

代田の田には足跡が残り、そこは今でもまわりより低くなっているそうです。

霞ヶ浦湖岸の代田あたりでは、毎年8月中旬にダイダラボッチを思わせる厄よけの大人形を作り、辻々に立てています。

龍神山の雨神さま

龍神山には、雨雲をつかさどる龍の神様がいました。龍神がまつられている佐志能神社で「足尾・加波山・筑波山、雨をください龍神山」と唄うと立ち所に雨が降るといわれています。

田植えの時期に雨が降らなくなると、まわりの村からお参りに来る人が跡を断ちませんでした。特に田を多く持っている村は、たくさん水が必要になるので、村人が大勢やって来ました。

江戸時代の中ごろの天明年間

に大きな日照りがあった時、何百人という村人が龍神山に集まってきました。雨乞いの一環である「お水迎え」をして、それぞれの村に雨を降らせようと誰もが考えたからです。どの村人たちも、竹筒を手にして神社に参拝し、その竹筒の中に御神水を入れて帰りました。それを持ち帰り田畑にまけば、たちまち雨が降り乾ききつた田畑を潤すというのです。

ただし、寄り道をするとその効き目はないというので、誰もが自分の村へと道を急ぎました。そのときばかりは、龍神山へ通じる宇都宮街道には、竹筒を持った人々がジュズのようにつな

がったそうです。

標高100メートルの龍神山は、旧石岡市でただ一つの山です。昭和35年ごろから樹木の伐採や碎石が行われて、山の自然環境は大きく変わりました。いつの間にか御神水は枯れて、お水迎えの民俗行事も消えていきました。

染谷・佐志能神社の雷神の穴

染谷佐志能神社の社殿に向かつて左側。その大岩の中央に、小さな鉄板の鳥居が見えます。鳥居の奥には玉子大の小さな穴があり、これは雷神の穴と呼ばれています。

夏になるとここから黒雲が湧き出し、さらに、この穴に指を入れると雷が鳴るまで抜けません。

この祭神は高雷神で、雨雲を司る龍神だといわれています。

ご意見、ご感想などありましたら。お葉書下さい！！

茨石商事株式会社
☎0299-24-2680
〒315-0013 石岡市府中 2-3-19

